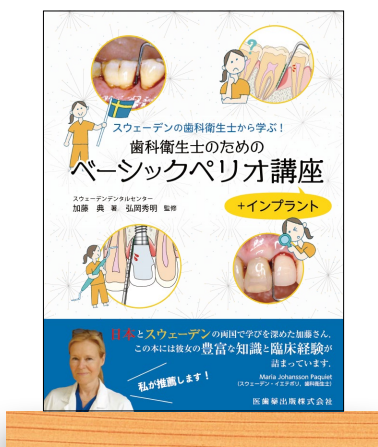


世界標準の歯周治療について 実際の臨床例や手技に基づいて解説!



スウェーデンの歯科衛生士から学ぶ!
**歯科衛生士のための
ベーシックペリオ講座+インプラント**
加藤 典 著/弘岡秀明 監修
A4判変/168頁 定価 5,200円+税
医歯薬出版 (2019年6月)

藤橋歯科医院 (栃木県宇都宮市)
評・安生朝子 (歯科衛生士)



臨床での疑問をQ & A形式でまとめた一冊です。通読して最新のエビデンスとスウェーデンの歯科衛生士業務を知る楽しみ、知りたいことにすぐアクセスできる便利さがあります。

私自身、1988年にイエテボリ大学の研修でこの本の推薦者、歯科衛生士 Maria Johansson Paquet氏からSRPのハンズオンを受けた経験がありますが、本書のようにスウェーデンの歯周病専門医院での歯科衛生士業務とその人となりを紹介できるのは、スウェーデンデンタルセンター (以下、SDC) 院長・弘岡秀明先生と長年パートナーである加藤 典さんが現在も両国で学びつづけているからであると確信しています。日本の歯科衛生士として、そうした知識に触れられる機会に感謝しています。

Chapterは、それぞれ歯周治療のガイドライ

ンに沿ったコンテンツとなっており、学習しやすい構成となっています。

まずは、Chapter 1, 2. 歯周病の原因である細菌性プラークについて理解を深めること、患者さんからの情報を収集するステップとスキル、それに基づく検査の流れと病態程度の把握などについて学ぶことができます。

つづく Chapter 3~5 では、歯周病検査やブラッシング指導のために必要な解剖学や歯周組織に関する知識をもつこと、個人ごとのパターンや分析に基づいた、清掃用具の選び方、ブラッシング方法といったモチベーション成功のキーワードを提示しています。

Chapter 6, 7はSRPについてです。キュレット、超音波スケーラーなどの器具の紹介から始まり、安全、効率的な手順や注意点をポジショニングとともに学び、そして期待される結果といった一連の流れが理解できます。その後のChapter 8, 9では、歯周外科治療、SDCでの実際のメインテナンスステップが紹介されています。

そして、Chapter 10からは、インプラント周囲病変と歯周炎のリスクファクターについて最新の知見をもって解説されています。インプラント周囲病変の新たな定義(2018年AAPとEEPのコンセンサスレポート)は歯科医師、歯科衛生士が必読の内容です。

また、ページをめくるとに出てくる、Clinical PointやDr. Hirookaからのアドバイスにも要注目です。歯科衛生士ならではの判断能力や臨床における注意を学ぶことができます。

以上、スウェーデンのガイドライン(『デンタルハイジーン』2019年11月号特集)を学び、EBMを再考するに最高の一冊として、自信をもって紹介させていただきます。加藤 典さん、Tack så mycket (スウェーデン語で「どうもありがとうございます」の意)。